

2023年度第2回町田市保健所運営協議会 会議録要約

・日 時：2024年2月6日（火） 19：00～20：15

・場 所：市庁舎 3階 3-2、3-3会議室

・出席者一覧

区分	所属	氏名	出欠
学識経験者	北里大学医学部	堤 明純	出
	山梨大学出生コホート研究センター	堀内 清華	欠
	一般社団法人 町田市医師会	中川 種栄	欠
	昭和女子大学食健康科学部	調所 勝弘	出
医療関係団体の代表	一般社団法人 町田市医師会	山下 弘一	出
	公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	長崎 敏宏	出
	一般社団法人 町田市薬剤師会	佐藤 康行	出
	東京都獣医師会町田支部	羽太 真由美	出
	町田市民病院	金崎 章	出
市民団体からの選出	町田市民生・児童委員協議会町田第二地区	渡辺 綱市	出
	町田市町内会・自治会連合会	川畑 一隆	出
関係行政機関の代表	警視庁町田警察署	川崎 和己	出(代)
	警視庁南大沢警察署	今村 輝明	出(代)
	東京消防庁町田消防署	山崎 純一	出(代)

※出：出席、出(代)：代理出席、欠：欠席

※敬称略

会長	各論としてこちらに置いてあるという認識をした。
A 委員	今回の回答に組み入れることは難しいと思うが、情報発信の仕方について、最近Y o u T u b eなどの動画で分かりやすい伝え方をしているのが結構見受けられる。高齢者もY o u T u b eなどを見る機会が増えていると思う。例えば健康づくりとか食育といったことも、もし可能ならばY o u T u b eでお知らせするとか、動画による分かりやすい情報発信をぜひ検討していただきたい。
保健総務課長	ご指摘のY o u T u b e、動画の作成については、例えば口トレということで口のトレーニングの動画を作成するほか、いきいき生活部になるが、Eトレといって食べて元気になるトレーニングの動画を作成している。様々な情報発信がある中で、動画は非常に効果的であると思っており、来年度新しく事業を始める中で検討して、動画であるとかそれ以外の効果的な情報発信についても取り入れていきたいと考えている。
会長	SNSを取り入れるなどについては入れておられるようだが、メディアの方もぜひ工夫をしていただきたい。
B 委員	目標2-3の16番の意見。震災における避難施設へのペットの同行避難について。今回の石川県の震災で、ペットを飼っている方が避難所に入らない選択をされて、車の中で生活していたりということで、人間の健康にもものすごく直結する問題だと思うので、獣医師会としても今後ぜひ具体的にどこの避難所なら同行できるとか、預けることができる場所とか、そういったことを一緒に考えていきたいと思う。
生活衛生課長	今お話があった通り、現実には起きている能登半島地震においても、ペットを受け入れしない避難施設がある。あるいは、車の中でペットと過ごされている方がいらっしゃるという情報は私どもも承知している。こういったことがないように、我々としても担当部署と協力し、まずは飼い主への同行避難のお願い。そして、避難所を管理する自主防災組織にも、ペットを連れて避難されている方が必ず来るということを前提に、今呼び掛けをしているところである。ただ、我々避難所の管理・運営について、定期的に連絡会等は行われているが、どこでどのような受け入れができるのかというところまではつかみ切れていない。引き続き啓発・呼び掛けを行いつつ、情報収集に努めていきたいという思いで回答をしている。

C 委員

今のところで追加だが、ペットを連れていくというと、大体想像するのは犬とか猫だが、逃げ出して困るのは、は虫類だったり大きな亀を飼っている人がいたり、猛禽類もいたりする。そういった場合も飼い主にとっては大切なペットだが、そういうところも考慮はしているのか。

生活衛生課長

今お話があった猛禽類とか、ライオン・トラのような特定動物に関しては、避難施設への受け入れは不可能ということで、既に呼び掛けは行っている。そういった場合には、ご自身で管理できれば一番よいのだが、もしそれができない場合には、あらかじめ預け先等、あるいは管理方法については飼い主ご自身で考えていただくようにという呼び掛けを行っている。

会長

今は情報収集段階のようだが、こういう動物はここならば大丈夫だとか、そういったマップができるとよいかもしれない。これから作っていくということなので、ご協力をいただきたい。
食事関係は関心が高いようだが、何かあればお願いしたい。

D 委員

施策の2において先ほど話があったように、健康づくりはバランスの取れた食事、適度な運動、質の良い睡眠が大切だと思うということなので、まずはそこをしっかりとやるということでこのような回答でよいかと思う。また、項目の目標1-3のところ、食で健康を支えるまちということだが、こちらの方は町田市の食育推進委員会においても、こういったところをしっかりと取り組んでいくとか、広げていくような施策をしていきたいと思っている。

3 議事

事務局

「(仮称) まちだ健康づくり推進プラン 24-31」の原案について
(資料2に基づき説明)

C 委員

8ページの策定の趣旨のところ。「全国的に少子化が進む中で、核家族化が進む」とあるが、「少子化や核家族化が進む」と直した方がよいと思った。

保健総務課長

文言の修正は検討したい。

C 委員	感染症対策について、H I Vとかエイズなどのほかに、今ものすごく梅毒がはやっている。これについての啓発、あるいは注意喚起なども載せたらよいと思う。
保健予防課長	ご指摘の通り、今梅毒が増えている。これについてはH I Vの検査が今年度から再開されているが、その中でも性感染症、梅毒・クラミジアなどの検査も併せて行っている。
会長	歯科のところで、目標を50歳以上から60歳以上にあげているが、どんな考えに基づいてのことなのか。
保健総務課長	前回50歳以上という記載にしていたが、50歳代は現役世代であるという点。60歳代というところでターゲットを絞って指標にした方が効果測定が分かりやすいのではないかという議論から変更している。
E 委員	よく噛むことは重要なことだが、50歳代の方で噛む能力が低い方はそうそういない。基本的には口腔機能は65以上から衰えが出てくると言われているので、60歳代からにしてみらうのはよいことだと思う。
会長	65ページのコラムを書き直したということだが、こちらの子ども・子育ては漢字を使うのか。
保健総務課長	町田市の子ども施策だが、子ども生活部というところがあるが、そこが漢字の子を使っている。家庭庁などではひらがなでこどもとしているが、町田市では漢字になじみがあるので使用していると聞いている。
会長	<p>以上で次第3、議事「(仮称)まちだ健康づくり推進プラン24-31の原案について」を終了したい。</p> <p>予定された議事は以上となる。委員から全体を通してご意見・ご質疑があればうかがいたい。</p> <p>では、私から。パブリックコメントの話に戻って、先ほど防災の話が出ていて、今年はそういうところから始まって、いろいろと議論もあるところだ。ペットの話もあったが、防災関係で消防の方からコメントの追加などいただけるとありがたいがどうか。</p>

F 委員

今回能登半島の地震があり、避難所の話で、避難されてきた方、もしくは避難されていない方に対していろいろなケアの仕方がある。我々消防では、どちらかというとも医療とか、あとは救助の方になる。防災という観点からは、我々は公助としていろいろ提供するが、普段から自助・共助が大事だということを訴えていくことが大切だということをつくづく感じている。なかなか公助を提供するには時間がかかり、タイムラグがある。そこを埋めるためには、やはり地元の方とか、自主防災組織の力がすごく大事になると思う。そういう部分を普及・啓発することが、一番大事なのかなと考える。避難施設を運営するのが、自主防災組織において第一となると思うので、我々ももちろんそういう方たちの支援に協力をさせていただき、市役所の防災課になるとは思うが、自主防災組織の教育・指導をよろしくお願ひしたいと思う。

会長

先ほどパブコメにもあったが、ネットワークづくりに通じるものになろうかと思う。

A 委員

町内会・自治会からだが、自主防の話が出た。実際に町内会・自治会の参加率を見ると50%を下回っている。そうすると、自主防災の中にいる市民の方というのは、半分以上の方がそうではない方々になっている。すると、町内会・自治会に入っている方々は、避難訓練とか防災訓練はいろいろ年に1回とかやっているのだが、そうでない方はやっていない。何かあったらいきなり避難所になる。こういった方々をどう把握するのかというのが、町内会・自治会では今一番頭の痛いところである。またそういった方々に普段から災害があった際にどういう形で行動してくださいというのは、これは市の方から、保健所だけではなく防災課もあると思うが、しっかりとそういった情報をお伝えしていただかないと相当な混乱が出てくると思っている。その辺は保健所と防災課で持っているもので、例えばマスクとか災害に対してのものがなかったと思っている。そういったものもこれからも町内会・自治会でもそろえていかないといけないと思う。町内会・自治会の方にこういったものをそろえていけばよいのかというのは、薬なども含めて、いろいろな形でお示しをいただけるような情報交換を日頃からさせていただければと思っている。

C 委員	<p>自治会もそうだが、救護所だとか、緊急医療救護所で一体何が行われて、どういったものが提供されるのかということ、一般の方もそうだが、自治会の方もあまりご存じないと思う。そこが結構大きな課題である。例えば、小学校に救護所を作ったとして、そこに果たして医者はいるのかとか、そういうことがなかなか伝わっていないというがあるので、それはこれからの課題だと思っている。</p> <p>あともう一つ。東京都の首都直下型地震の被害想定というのは、火事で亡くなる方が1万6,000人、倒壊が7000人で火事が多い。下町などがそうだと思うが、町田も昔は金井・金森のあたりが危なかったが、今は森野の道が狭い。今回輪島の方でかなり焼失面積が大きかったが、火を付けたまま外に逃げたというのが原因と考えられる。今自動で止まったりする装置等が普及しつつあると思っていたのだが、普及率はどうなっているのか。</p>
F 委員	<p>コンロの話は把握していない。感震ブレーカーとか、電気の方はいろいろとあって、市の方で以前は配布もあったとは聞いているが。東京消防庁としてどの程度あるかは把握できていない。</p>
A 委員	<p>東京都では今年大震災後100年ということで、いろいろ補助とかあったのだが、振動式のブレーカーのコンセント型を提供するとあるのだが、たかだか1個である。コンセント1個では何の役にも立たない。それで、町内会・自治会としては、東京都の方にもうちょっとその辺のところを充実するような形で対応してほしいという要望は出している。</p>
C 委員	<p>それもコンセントなので、そこにつなぐようなものはそれでよいかもしれないが、キッチンにあるももとのコンロには付けられない。</p>
G 委員	<p>薬剤師会は今社会福祉協議会を通して町内会向けの災害と薬という勉強会をやっている。必要に応じて呼んでいただければと思う。今年度もずっとやっているの、それで問い合わせをいただければ、どういう薬を準備しておくとか、どこに避難所があるとか。あとは救護所とはどういうものかというのは、全部解説をしている。町田市全町内会・自治会対象でやっているの、必要があればお声かけいただきたい。先ほどの疑問点は全部網羅できると思う。</p>

保健総務課長	<p>今ご意見をいただいたことについては、防災課の方で共有させていただく。保健所には救護統括班というものが地域防災計画の中で役割がある。薬剤師会の先生方にも、薬事の部分でのコーディネートをお願いしている。訓練について、年1回は必ず実施しており、マニュアル等の点検を通じて課題があることも承知している。その課題を一つずつ考えつつ進めていきたいと思っている。</p>
会長	<p>初動も大切だが、中長期に保健関係はかかわる部分があるので、この機会に情報交換ができるのはとてもよいと思った。</p>
D 委員	<p>まちだ健康づくり推進プランというのが、いろいろな計画が一つになったということだが、一つになったことでいろいろなものが盛り込まれていて複雑になっているので、概要版を作る予定などはないのか。</p>
保健総務課長	<p>概要版も同時並行で作成中である。</p>
G 委員	<p>オーバードーズのことが薬剤師会で今課題になっている。現在、学校薬剤師を通して、最近は小学校に対して薬物乱用防止教室の中でオーバードーズをどうするのかという話がある。詳しくやると、逆にそこから始まるのではないかという懸念も含めて、どうしたらよいのか悩みながら進めている。全体的には一次予防としてはしっかり教えるべきだという話が優勢である。一部、ドラッグストアで対象商品が山積みになっているのを万引きして、それで売っているという話もある。その辺、対策などお考えであればうかがいたい。</p>
健康推進課 統括係長	<p>今回オーバードーズが問題になっているということで、今回の計画でも72ページにコラムという形で過量摂取について載せている。このあたり、知っている方と知らない方で情報量に差があるので、まずはこういうコラムという形で、皆さんにこういう問題があることを知っていただこうと思っている。あとはその上の主な取り組みの5にも書いたが、その有害性・危険性に関する情報の周知に取り組んでいきたいと考えている。</p>
会長	<p>今回の計画の原案を2月16日に町田市に答申を行うことになっている。私から答申したいと思うがよいか。</p> <p>(異議なし)</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。では以上で本日の議事が全て終了した。2年間の成果となるが、皆様には会議にご協力いただき感謝申し上げます。これまでの感想でかまわないので、最後に一言ずつお願いしたい。</p>
<p>H 委員</p>	<p>我々は今ちょうど高齢者の訪問をやっていて、その中でいろいろな不平不満を直接聞いている。それを我々としては支援センターに伝えている。それと保健所との関係がどうなっているのかというのが、いまいち見えていないところがある。例えば介護度5とか4といった人がなかなか歩けなくて外に出られなくて困っているとか、自分の家で世話になりたくない人が結構多い。そういう方も我々としては見守っていかないといけないし、そういう方の健康も考えていかなければいけないと思っている。それが保健所の役割がどこまでなのかは分からないが、今後もいろいろ協力し合ってやっていきたいと思う。</p>
<p>A 委員</p>	<p>町内会・自治会の方も、人が集まると健康と年金の話がメインになっている。盛りだくさんな項目で保健所の方でも考えていただいて、健康づくりを一緒になって進めていくためにも、いろいろな情報を分かりやすくぜひ伝えていただきたいと思っている。我々も多くの方に参加していただいて、お互いに健康で頑張っていけるような社会にしていきたいと思うので、引き続きお世話になるがよろしくお願いしたい。</p>
<p>I 委員</p>	<p>日頃から保健所の方にはいろいろお世話になり厚く御礼申し上げます。日頃から高齢者の取り扱いであったり、精神疾患をお持ちの方の取り扱いなど、警察だけの力ではどうすることもできない。ぜひとも保健所の方々の力をお借りして、また地域住民でもお困りの方もおられるので、関係機関と調整を図って今後とも仕事を進めたいと思うのでご理解とご協力を賜るようよろしくお願いしたい。</p>
<p>J 委員</p>	<p>やはり高齢者、精神疾患を抱える方で、その方自身の健康ももちろん大切だが、それを支える家族の方々も精神的な苦勞がある。なかなか解決しない問題ということで、我々は一時的な取り扱いというのはもちろんするのだが、継続的な支援は保健所など、その他の行政機関のご協力を仰がざるを得ない。これからも良好な関係を築いて協力していきたいと思う。</p>

F 委員

新興感染症、コロナでは医師会の皆様、保健所の皆様等にご協力をいただき、搬送困難例なども何とか搬送先を見つけることができて、患者様をお運びすることができた。またこれからもいろいろと感染症が出てくる可能性は多々ある。その時も顔の見える関係があって、搬送先が見つかっていく。そうでないと、救急隊は次の事案に対応ができず、ずっと現場にいるようなことになってしまう。今後とも顔の見える関係を作っていきたいと思う。大規模災害もいつ東京・町田で起きるか分からない。これに関しても、日頃から訓練をして、適切に対応できるようにやっていくので、皆様のご協力、よろしくをお願いしたい。

K 委員

市民病院も保健所との関係はかなり密で、検診も含めて、いろいろな疾患に対してもいろいろな意味で協力したいと考えている。今回、感染症・コロナにおいて非常に保健所で頑張っていたいただいて、市民病院も少しは協力できたかなと思っている。今後も引き続き連携をしっかりと取って、よいものにしていきたいと思っているのでよろしくをお願いしたい。

B 委員

この2年間会議に出させていただいて、本当に保健所の大変さを実感した。先ほど町内会の所属率が半分ぐらいという話があったが、獣医師会も開業医の半分以上が入っていない状況をまず何とかしたいと思った。これからも動物と人との関係に留意して、協力できればと思う。

G 委員

薬剤師会は災害活動薬剤師の育成事業をやっている。先週3回目が終了して、今年度でまた10名追加をして、合計今70名が災害活動薬剤師と認定されている。どこまでできるのか実際に分からないが、うちだけでできる話ではないので、保健所や医師会・歯科医師会と共同で働く形を前提としている。そういった形も今取ってきている。あとは先ほど申し上げた町内会に対しても、災害と薬という教室も進めている。あとは学校薬剤師として、薬物乱用防止教室もやっている。こういったことが今回の計画にも結構数字で表現されているので、この数字が少しでも良くなるようにうちとしても協力ができると思っている。今後もよろしくをお願いしたい。

E 委員	<p>先ほど来、口腔機能の話、高齢者の話が出ている。高齢者はもちろんそうだが、最近では子どもでも口腔機能が発達していない事例が多々見られている。これから学校検診ももちろんそうだが、診療等でもなるべく早く発見して、しっかりと口腔機能が付けられるように。また乳幼児検診等でも啓発していきたいと思っている。高齢者に対しても、町田市の方で高齢者口腔検診というのがあるが、なかなか受診率が伸びない状況である。少しでも受診率が伸びるように高齢者に啓蒙していきたいと思うので、今後もよろしく願いしたい。</p>
C 委員	<p>自分は災害がメインでコーディネーターをやっているが、災害時の問題点の一つに、ボランティア活動というのがあるが、場当たり的に行きがちなので、共助という意味ではあらかじめ市内の防災も大事だが、近隣で何かあった時にどのように助けに行けるのか。その時にどういうふうに取りまとめて、誰がマネジメントするのか。そういったことも考えておくことが大事だと思っている。それがお互いに近隣同士がもっともっとそういうふうを考えてくれていれば、助け合いができると思っている。地元の防災計画もでき上がったところなので、そういう方面にも力を入れていきたいと思っている。ご協力をお願いしたい。</p>
会長	<p>まず委員会の委員の皆様には、この2年間ご参画をいただき感謝申し上げます。それから、保健所の皆様には、コロナ禍の中で非常に活動が制約された中で、非常にご尽力をいただき、このような立派な推進プランができたことをありがたく思っている。パブリックコメントでも非常に貴重なご意見をいただけて、すごく関心が高いものだと呼び読んでいた。今後はこのプランが着実に実行されることを祈っている。これからも皆様のご協力をいただいて、実行の方に移せればと思っているので引き続きよろしく願いしたい。</p> <p>3. 閉会</p>
事務局	<p>以上で保健所運営協議会を閉会する。本日は誠にありがとうございました。</p>